

## 福島の子供ら春休み満喫 高山で1週間、農業など体験

岐阜新聞 2013年03月26日

東日本大震災と福島第1原発事故で被災した福島県の子供らに、高山市内で春休みを満喫してもらおうと、「ふくしまキッズin飛騨高山」が25日、同市内で始まった。31日まで6泊7日の日程で、子どもたちがさまざまな体験活動を楽しむ。

全国のNPO法人などで作る「ふくしまキッズ実行委員会」が全国で展開。高山市ではグリーンツーリズムの推進団体「ふるさと体験飛騨高山」が協力して昨年に続き実施、小学生30人が参加する。

同市丹生川町小野の旅館「朴葉荘」で行われた入村式では、同団体の中萩久夫代表理事が「おいしい空気と自然の中で思い切り遊んでください」などとあいさつした。子どもたちは市内散策や農業体験、乗馬などさまざまなプログラムに期待を膨らませていた。

福島県相馬市の男子児童（11）は「鍾乳洞へ行くのが楽しみ。いっぱい友だちをつくりたい」と笑顔で話していた。



体験活動への期待を膨らませ、入村式に臨む福島県の子どもたち＝高山市丹生川町小野、朴葉荘